

# 5.育苗条件

## 【根系発達促進手法】

施肥量 (MCコンテナ(JFA-300)1穴あたりのグラム(g))



県竹田11号 (さしつけ: 2019年4月、移植: 2019年8月、撮影: 2020年3月)

例: スギバークコンポスト培地の場合

散水条件: 2日に1度、MCコンテナの底から水が滴る程度の灌水量

施肥条件: 1穴 (300cc) あたり4-8g (例:ハイコントロール085-100等)

(N:0.40~0.80g、P:0.72~1.44g、K:0.60~1.20g/キャビティ)

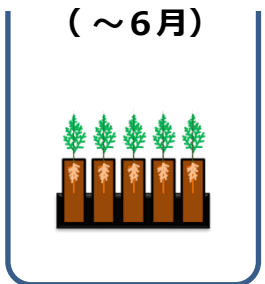
(※施肥条件は苗木の枯損率、伸長・肥大成長量・根鉢表面被覆率(p10参照)、植栽後の伸長成長量のデータから総合的に判断し決定した)

## 【成長促進剤の活用】

- 苗木の規格到達率を高める手法として、施肥以外に成長促進剤 (フルボ酸 (例:フジミン等)) を活用する方法がある
- 35cm穂を用いた育苗試験において、フルボ酸処理区の根元径成長量は、無処理区のものよりも大きく、統計上の有意な差が確認されている
- 施用コストはコンテナ苗 1本あたり0.8円程度である

### 根系発達促進手法

(~6月)



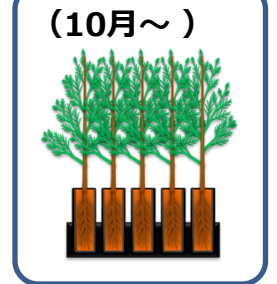
### 成長促進剤施用

(7月~9月)



### 通常管理

(10月~)



### 〔施用方法〕

- ・ 6月中は根系発達促進手法に基づき育苗する
- ・ 7月から9月末まで、フルボ酸 (500倍希釈) を2週間に1回の頻度で葉面散布する
- ・ 10月以降は通常どおりの管理条件で育苗する